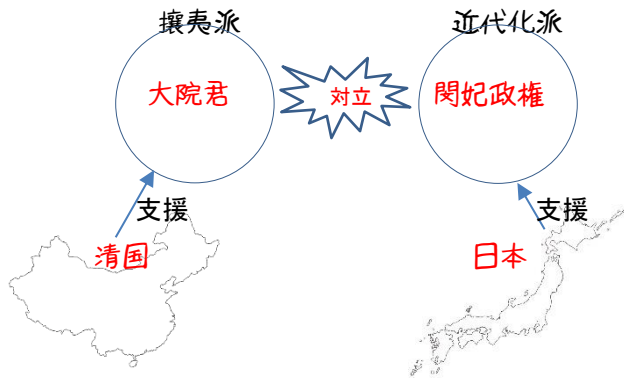


103 明治時代 朝鮮の動向

1875 朝鮮開国(日朝修好条規)後

・朝鮮の国王は高宗(こうそう)といいますが実権は高宗の外戚である閔妃一族が握っていました。この閔妃政権は開国後、日本と結んで近代化を進めようとしていました。
・これに対して国王高宗の実父に、頭に古い攘夷派の大院君というのがいて、西洋化に反発しました。近代化を進める閔妃政権のバックには日本、頭の古い大院君一派には清国がバックにつきました。



1882 壬午軍乱

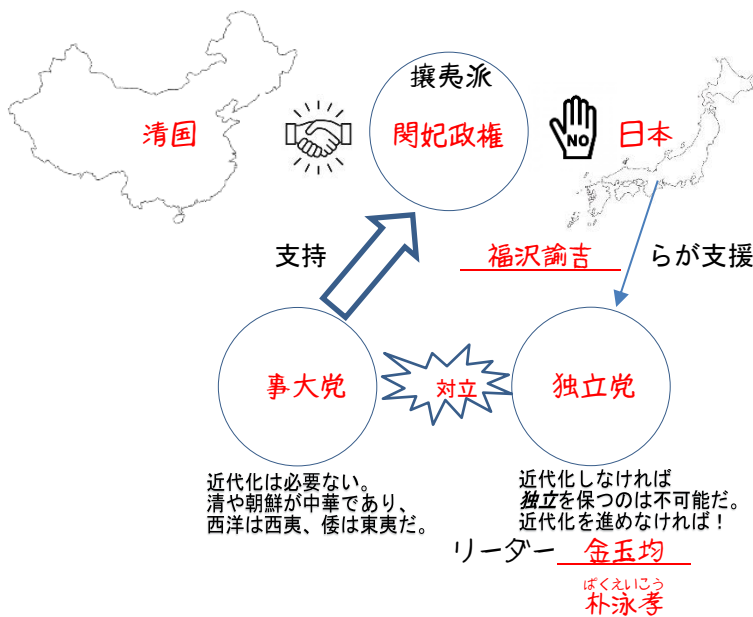
・閔妃政権が日本人教官を招いて軍の近代化を進めると、弓とか槍とか旧式軍隊が大院君をかついで反乱を起こしました。これが壬午軍乱です。首都漢城の日本公使館が焼き討ちされてしまいました。清国軍がやってきて大院君を清に連行してしまい、閔妃政権は助かりました。

結果その1 露物浦条約

- ・朝鮮は日本に賠償金を支払う。
- ・日本が首都漢城に日本軍駐留権獲得。

結果その2 朝鮮が親日近代化路線中止

閔妃「清は頼もしい。無理に近代化は必要ない!」



1884 甲申事変

近代化に目覚めない閔妃政権を倒すべく金玉均ら独立党が起こしたクーデター事件です。日本軍も出兵しましたが清国の大軍も来援してきて独立党は敗れ去りました。金玉均は栃木県の佐野市に逃げました。佐野市には福沢諭吉の教え子の須永元がいたからです。

1884 天津条約

日本の 伊藤博文 首相と清国の 李鴻章 はともに日清戦争を望んでおらず、事変の事後処理と緊張緩和のための条約。日清両国は朝鮮から撤兵し、今後朝鮮に出兵するときには日清両国は互いに事前通告することを約しました。

1884 大阪事件

独立党を助けようと日本の自由民権派が朝鮮に渡って改革を起こそうとした事件。

旧自由党員 大井憲太郎、影山英子

1889 防穀令事件

このころ日本は銀本位制が確立して産業革命期に入っていました。工場労働者が増えたため、日本は朝鮮から安く米を買い占めていました。そこで閔妃政権は日本に米穀を売るな令を出したわけです。それに日本が抗議、朝鮮は日本に賠償金を支払い、防穀令を撤回しました。朝鮮の貧民は米穀が足りなくなり、苦しむようになりました。

このころ朝鮮農民に朱子学を批判して学問の有無に関わらず人間の平等を説く 東学 が広まる。教祖… 崔洛愚

1891 シベリア鉄道 起工式

イギリス、ロシアの南下を防ぐため、近代化を遂げた日本との連携を真剣に検討するようになる。

1894 甲午農民戦争 (東学党の乱)

新興宗教の人間平等を説く東学で結束した朝鮮農民が全土でいっせいに一揆を起こしました。朝鮮農民は朱子学に虐げられてきたのです。閔妃政権は清国に援軍を求めました。清国は 天津条約 に従って出兵を日本に事前通告、通告を受けた日本も対抗上、朝鮮に軍を送りました。農民戦争そのものは鎮圧できましたが、日本は清に朝鮮の共同改革案を提出します。

1894 日英通商航海条約

領事裁判権の撤廃に応じ、関税自主権の回復はないけど関税率を日本に有利にしてくれました。日清戦争へのゴーサインです。伊藤内閣の陸奥宗光外務大臣のときでした。

1895年 日清戦争 開始

朝鮮半島への清の影響力を排除し、朝鮮をロシアやイギリス等列強の影響が及ばない「利益線」にするためでした。

人生好展望!

壬午軍乱→露物浦条約→甲申事変→天津条約→防穀令事件

103 明治時代 朝鮮の動向

朝鮮政府内の権力争い

- 国王 高宗 は飾り

1 実権を握る外戚の 閔妃政権

2 高宗の実父で頭が古い 大院君

→朝鮮開国後、閔妃政権は軍の近代化を
模索

2 高宗の実父で頭が古い 大院君

→朝鮮開国後、閔妃政権は軍の近代化を
模索

1882 壬午軍乱

朝鮮開国後、閔妃政権は軍の

1882 壬午軍乱

朝鮮開国後、閔妃政権は軍の

朝鮮政府内の権力争い

- 国王 高宗 は飾り

1 実権を握る外戚の 閔妃政権

103 明治時代 朝鮮の動向